

簿記知識は不要！決算書とキャッシュフローが手に取るようにわかる すぐに使える決算書 読み方・分析テクニック実践講座

決算書の基本的なしくみから会社の実態把握、経営改善への具体的対応まで演習を中心に実践解説
簿記の知識がなくても簡単に決算書が理解でき、経営分析や経営改善手法についてマスターができる
実践講座です。自社だけでなく、得意先の経営状態を判断する力も身につきます。

当日、電卓・蛍光ペンをお持ちください。

開催要領

日時 2018年12月19日(水) 10:00~17:00

会場 企業研究会セミナールーム(東京・麹町) 東京メトロ麹町駅より徒歩5分

講師紹介

松田会計事務所 所長 税理士 松田 修 氏

(松田修氏ご略歴) 昭和61年税理士試験合格。税理士。松田会計事務所 所長。学校法人村田簿記学校講師(法人税法、簿記論担当)を経て、辻会計事務所(現 辻・本郷税理士法人)入所。数多くの企業の会計・税務業務や経営相談などを経験。平成5年に独立し、「税理士 松田会計事務所」を設立。簿記・税務の専門スクール「麻布ブレインズ・スクール」代表を務めるほか各種実務セミナー講師としても活躍中で、豊富な経験に基づいた分かりやすい解説が受講者から絶大な支持を受けている。主な著書として「Q & Aで基礎からわかる固定資産をめぐる会計・税務」「Q & A国際税務と海外勤務者・非居住者の税金」「Q & A経理担当者のための税務知識のポイント」(清文社)など多数。 < 受講者特典：当日、テキストとして講師著「はじめてわかった決算書プロのコツ最新版」(リード社)を配付します。 >



ご参加頂きたい方

経営企画・経理・関連事業部門等に新たに配属され、決算書の読み方/使い方について学びたい方

■受講料：1名(税込み、テキスト/昼食代 含む)

正会員	37,800円(本体価格35,000円)
一般	41,040円(本体価格38,000円)

■参加要領

当会ホームページからお申込みください。FAX、または下記担当者宛E-mailからもお申込み頂けます。後日、(開催日1週間前~10日前までに)受講票・請求書をお送りします。

*正会員登録の有無など、よくあるご質問(FAQ)は、当会ホームページでご確認いただけます。

((セミナー・会員研究会)→[よくあるご質問])

*お申込後のキャンセルは原則お受け致しかねますので、ご都合が悪くなった際は、代理出席をお願い致します。

*最少催行人数に満たない場合は、中止とさせていただきますので、予めご了承ください。

*申込書をご送信頂く際はくれぐれもFAX番号をお間違えないようご注意ください。

■お申込・お問合せ先

一般社団法人企業研究会 セミナー事務局

担当/鈴木 E-mail:a-suzuki@bri.or.jp

TEL:03-5215-3513 FAX:03-5215-0951

東京都千代田区麹町5-7-2 MFPR麹町ビル2F

当会ホームページよりお申込みいただくのが便利です。

企業研究会 セミナー Q 検索

※書面にてお申込みの場合には下記申込書をご記入の上、FAXにてお送りください。

181764 - 0606		すぐに使える決算書 読み方・分析テクニック実践講座	
ふりがな 会社名			
住所	〒		
TEL	FAX		
ふりがな ご氏名	所属 役職		
E-mail			
ふりがな ご氏名	所属 役職		
E-mail			

12月19日

(水)

10:00

12:30

昼食タイム

13:30

午後 途中

休憩タイム

あり

17:00

決算書（損益計算書・貸借対照表）編

1．損益計算書の見方・読み方、経営分析

- (1) 損益計算書に登場する5つの利益
- (2) 増収と減収、増益と減益、当期の決算を総括する
- (3) 売上原価率、粗利益率を計算し、その内容を理解する
- (4) 粗利益率の低下に注意！わずかに10%、5%の値引きが利益にあたえる意外な影響
- (5) 営業利益率、経常利益率を計算し、その内容を理解する
- (6) 会社に利益が出るとどんな税金が課税されるか
- (7) 会社利益に対して税金は何%？実効税率を理解する
- (8) 一人当たり「月間経常利益」で見えるもの
- (9) 営業利益に占める「正味支払金利」の割合とその改善方法

2．貸借対照表の見方・読み方、経営分析

- (1) 流動資産・固定資産の内容を理解する
- (2) はたして資産？繰延資産の正体
- (3) 流動負債・固定負債の内容を理解する
- (4) 「純資産の部」をやさしく理解するポイント
株主からの払込金 過去の利益の蓄積(内部留保)
- (5) 自己資本(純資産の部)を充実させる2つの方法を学ぶ
増資 利益を出す 現金はどちらが残るか？
- (6) 自己資本比率を計算し、その内容を理解する

決算書からキャッシュフローを徹底検証

1．実践 キャッシュフロー経営

- (1) キャッシュフローを良くする(悪くする)4つの原因
- (2) 「利益」が出ても現金預金が増えないのはなぜか？
- (3) キャッシュフロー計算書が入手できなくても大丈夫！
決算書からキャッシュフローを計算する

2．計算書からキャッシュフローを読む「6つの経営分析」

【経営分析1】支払能力は充分か？流動比率・当座比率を計算する

【経営分析2】売掛金回収サイトと買掛金支払サイトの違い

売掛債権(売掛金、売掛債権)は何日で回収しているか？

買掛債務(買掛金、支払手形)は何日で支払っているか？

サイトの差に無理は無いのか？

【経営分析3】商品手持日数を把握し、不良在庫の発生を防ぐ

【演習】「商品手持日数」を実際に計算する

何日分の在庫を持っているか？ 「不良在庫」は発生していないか？

【経営分析4】余分な資産はないか？効率的な経営をしているか？

「総資産経常利益率(ROA)」でチェックする

【演習】「総資産経常利益率(ROA)」を実際に計算する

「総資産経常利益率(ROA)」の目安となる数字を理解する

「総資産経常利益率(ROA)」でわかる資金繰りのよし悪し

【経営分析5】設備投資は適切か？

「自己資本対固定資産比率」と「固定長期適合率」を実際に計算する

【経営分析6】キャッシュフローはB/S(貸借対照表)のこの比率で決まる

「倒産会社のB/S」と「優良会社のB/S」を比較する 理想のB/Sとは？

【演習】B/Sを図形化して検証する

3．倒産会社から学ぶ「経営指数のデッドライン」

この数字を超えたら会社は「死の床」

損益分岐点売上編～損益分岐点売上の計算とその応用～

- (1) 損益分岐点売上とは？変動費、固定費を理解する
- (2) 「損益分岐点売上」を実際に計算する
- (3) 「安全余裕額」と「安全余裕率」を計算する
- (4) 固定費が増加した場合、どのくらい売上がアップさせなければならないか？
- (5) 売上が減少した場合、固定費をどのくらい削減しなければならないか？